

下都賀教育事務所

ふれあい学習情報紙

栃木市神田町6-6
下都賀教育事務所
ふれあい学習課
0282-23-3422
E-Mail
shimotuga-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp



第100号記念!

この度、本誌「タウンサポーター」が100号を迎えました。記念すべき節目に際し、皆様とこの感動を分かち合えることに心より感謝いたしております。

本誌は、12年前、ふれあい学習課の創設と同時にスタートしました。この間、初代ふれあい学習課長 増田富男先生の掲げられた「家庭・地域の教育力の再生」「地域コミュニティの活性化」「生涯学習社会の形成」を目指した数々の取組が、本誌面にて紹介されてまいりました。お陰様をもちまして、「大人が変われば地域が変わる、地域が変われば子どもが変わる」ことが、多くの皆様に理解され、今に至りました。

教育に限らず、社会全体が様々な課題を抱えております。今こそ、ふれあい学習の力でこの難局を乗り越えようではありませんか。(ふれあい学習課長 海老沼 功)

下都賀地区 PTA 指導者研修 II



鈴木いづみ先生（公益財団日本スポーツ栄養士）による「スポーツをする子どもの食事と栄養」の講演会
*多くの参加者が熱心にメモを取り、先生の話に聞き入っていました。

★参加型の分科会では、参加者の笑顔が光り、学びも深まりました。研修会での学びを今後はそれぞれのお立場で生かしていただくと幸いです。



A分科会
「一人一人の人権が尊重される結婚とは…」



B分科会
「考えてみませんか。携帯電話の光と影」



C分科会
「心をつなぐコミュニケーション」

キラリ☆ふれあいの輪

☆ありがとう!!助っ人中高生（野木町）

野木町では、毎年夏休みに小学5年生向けのキャンプ活動を行っていますが、この事業に必要不可欠な野木ジュニアリーダーズクラブの会員が減少しています。そこで、ともにキャンプ活動や小学生のサポートをしてくれる中高生を募集したところ、中学生4名・高校生（小山南高）7名の申し込みがあり、おかげさまで事業は大成功を収めました。中高生にとっても、テント宿泊や火起こし体験、キャンプファイヤー、野外炊飯など、普段では味わえない体験をし、小学生からはお兄さん・お姉さんと慕われ、良い思い出になったのではないのでしょうか。この貴重な経験は、大きな財産となるはずです。キミ達の今後の活躍を祈っています。



☆家庭教育支援チーム「かざぐるま」（小山市）

小山市家庭教育支援チーム「かざぐるま」は、県の親学習プログラム指導者養成研修を修了した8人のメンバーにより構成されています。平成20年度に結成して以来、就学時健康診断やPTA研修を始めとした、多くの親が集まる様々な機会を活用して、親学習プログラムを実施してきました。「こんな時みんなはどうしているの?」「こんなに頑張っているのに、どうして分かってくれないの?」など、子育てに関する不安や悩みは尽きないものです。子育てをしている方同士が話し合い、一緒に考えることで、そんな日頃の「ちょっとしたこと」を解決するヒントを見つける「手助け」となるよう、家庭教育支援チームは活躍しています。



岩舟町

深めよう☆地域の絆

10月16日に町総合運動公園で「岩舟町民体育祭」が開催されました。テーマは「世代を越えて笑顔のふれあい」です。町内を8つの支部に分けて各支部から選手が集まりました。

合併後も岩舟地区として体育祭は開催予定ですが、岩舟町としては最後の体育祭です。特別な年の体育祭に地域の絆も深まったことと思います。

爽やかな秋空の下、徒競争やポール送り競走、じゃんけんボウリング、片足百足競争、リレーなど、14の種目に約1,300人が心地よい汗を流しました。特に、徒競走やリレーでは、地域の子もたちの力走に熱い声援が送られていました。

岩舟町民体育祭

